



議会だより

発行/毛呂山町議会
編集/毛呂山町議会だより編集委員会

MOROYAMA ASSEMBLY NEWS

もろやま

〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地 TEL 049-295-2112 URL <http://www.town.moroyama.saitama.jp/kakuka/gikai/>



9月の定例会

正副議長選挙結果・委員会等人事	2P
平成24年度一般会計決算認定	3~4P
平成24年度特別会計決算認定	5P
平成25年度補正予算	6P
条例の制定・改正 常任委員会レポート	7P
町や議会のハイライト・議案の審議結果	8P
一般質問	9~13P
全員協議会ほか	14P

平成25年11月1日発行

第 82 号

82

議会だよりは議員の自主編集により発行し、この用紙は再生紙を使用しております。

全国女性消防操法大会銅メダル獲得（横浜市消防訓練センター）

9月議会 定例会

正・副議長決まる

平成25年9月定例議会は、9月2日から20日までの19日間の会期で開催されました。議会初日は、正・副議長選挙、議会運営委員及び、委員会の編成が行われました。今期定例会に提案されました案件は、専決処分の承認1件、条例の制定2件、条例の一部改正4件、補正予算6件、水道会計未処分利益剰余金の処分1件、決算の認定6件、報告4件、合計24件が上程され、慎重なる審議をいたしました。

なお、今議会における一般質問は9名が登壇し、活発な質問が展開されました。

正・副議長選挙結果

【議長】

下田 一甫 10票
小峰 明雄 3票
藤岡 健司 1票

【副議長】

村田 忠次郎 11票
長瀬 衛 1票
岡野 勉 1票
藤岡 健司 1票

議会運営委員会

議事日程や会期の決定並びに議長の諮問に関する事項を審査致します。



議長 下田 一甫



副議長 村田 忠次郎

このたび不肖私、議員多数のご推挙により議長という要職に就くことになり、誠に身に余る光栄でございます。

私は、行政経験は長いのですが、議員としての経験は浅く且つ、浅学非才でありその器ではないことは承知しておりますが一身を挺して議会の運営につきましましては公平無私の立場を堅持しつつ、町政発展の上に立って正しく構えて住民の信託に応え住民福祉の向上に努力して参りたいと思っておりますのでご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

下田 一甫

常任委員会の構成

総務文教

議会、総務、教育、企画政策関連、町税ほか歳入全般を審査致します。

委員長 佐藤 秀樹
副委員長 荒木 かおる
委員 村田 忠次郎
宮寺 征二
岡野 勉
高橋 達夫
岡部 和雄

生活福祉

福祉全般、生活環境及び水道事業、農業、土木建設各特別会計を審査致します。

委員長 千葉 三津子
副委員長 弓田 茂樹
委員 藤岡 健司
下田 一甫
小峰 明雄
長瀬 衛
堀江 快治

議会だより編集委員会

委員長 岡部 和雄
副委員長 長瀬 衛
委員 佐藤 秀樹
千葉 三津子
村田 忠次郎
堀江 快治

委員長 藤岡 健司
副委員長 岡野 勉
委員 弓田 茂樹
佐藤 秀樹
荒木 かおる
千葉 三津子
アドバイザー 下田 一甫 (議長)

平成24年度決算

一般会計決算を認定!

(賛成多数認定)

24年度主な事業

一般会計決算	区 分	金 額
	歳 入 総 額	109億 1,615万 4千円 (前年度比 12.2%増)
	歳 出 総 額	104億 7,479万 5千円 (前年度比 12.1%増)
	歳入歳出差引額	4億 4,135万 9千円 (※うち繰越明許費 8,331万 9千円)
	実 質 収 支 額	3億 5,804万円

※繰越明許費の内訳は、福祉会館耐震補強工事設計委託料、川角中学校大規模改造事業など

●歳入内訳

科目	区 分	決 算 額
町 税		36億5,015万9千円
地 方 譲 与 税		9,869万2千円
利 子 割 交 付 金		881万3千円
配 当 割 交 付 金		887万8千円
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金		256万2千円
地 方 消 費 税 交 付 金		2億9,574万1千円
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金		7,155万6千円
自 動 車 所 得 税 交 付 金		4,273万2千円
地 方 特 例 交 付 金		1,934万9千円
地 方 交 付 税		20億640万8千円
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金		529万5千円
分 担 金 及 び 負 担 金		1億982万5千円
使 用 料 及 び 手 数 料		6,078万1千円
国 庫 支 出 金		10億8,184万3千円
県 支 出 金		7億2,254万8千円
財 産 収 入		1,548万3千円
寄 附 金		90万5千円
繰 入 金		7億1,078万6千円
繰 越 金		3億8,468万7千円
諸 収 入		4億9,406万4千円
町 債		11億2,504万7千円
合 計		109億 1,615万 4千円

●歳出内訳

科目	区 分	決 算 額
議 会 費		1億1,355万5千円
総 務 費		13億6,705万3千円
民 生 費		33億5,666万3千円
衛 生 費		7億8,547万5千円
労 働 費		3,003万2千円
農 林 水 産 業 費		1億2,259万5千円
商 工 費		4,980万9千円
土 木 費		13億7,337万円
消 防 費		6億1,279万3千円
教 育 費		10億4,803万1千円
災 害 復 旧 費		0円
公 債 費		7億6,825万4千円
諸 支 出 金		8億4,716万5千円
予 備 費		0円
合 計		104億 7,479万 5千円

○ 児童手当の給付

○ 介護給付費・訓練等給付費の支給

○ 新保育園建設事業

○ 埼玉西部環境保全組合負担金

○ 農業用排水路等整備事業

○ 武州長瀬駅北口周辺地区整備事業

○ 川角小学校体育館耐震補強工事

○ 泉野小学校体育館耐震補強工事

一般会計決算認定討論

反対討論3議員・賛成討論なし

長瀬 衛 議員

財政状況は、財政力指数・経常収支比率など自主財源の乏しい現状を象徴し、実質公債費比率も本来あるべき区画整理、工業団地、川角駅周辺整備等の大型活性化策が未整備のまま今日を迎えている現状を物語っている。事業の内、**新保育園建設**は保育需要等極めてズサンな子育て支援計画に沿ったもの。既に子育て支援センターを含め民間施設整備は完了している。公立3園が2園になり年間予算は僅か240万円の減額に留まったことは理解不能。**地域の要支援者見守りや自主防災等の組織化**に進展が見られない。10年あまり重点的に進めてきた**長瀬駅中心の事業**は大きなボタンの掛け違いだ。橋上駅完成により利用者は現在の10倍強の段階で利用は過酷になる。長瀬駅北口周辺地区整備事業の最終目的は新川越生線への接続で、大動脈として期待の**新川越坂戸毛呂山線**ではない。企業誘致等にとって現状は極めて残念だ。公約に反し、**可燃ゴミ排出量**が組合構成市町の中でダントツに多い。**農業塾、体育施設指定管理者問題**への町長の対応はお粗末で猛省を促す。職員には感謝しつつさらに奮闘を期待する。

岡野 勉 議員

本町では、非正規雇用（臨時職員）が多いのが特徴です。良くとれば安い人件費で住民サービスを高めようとの努力は汲み取れるが、待遇面で犠牲（公務員は兼職が禁止され、年間100万円に満たない職種も）が大き過ぎる。特に保育士、教育部局では事務職員、用務員、各支援員、給食センターなどに臨時職員が多く、保育士では7割に及び「働きがいと安心な雇用」のため、一刻も早く臨時から正規雇用に！全国並みに切り替えるべきです。

また、新たに導入された指定管理者制度は、業務を全て「丸投げ！任せてある！」ため町行政が業務の実態（進捗）を把握せず、今回の体育協会の事態になりました。本制度は他の指定管理業務にも当てはまり、例えば町立図書館では「本の貸し出し状況はどうか。蔵書数と貸出数の関係はあるか」等など。指定管理者に「任せてある」ではなく、町の課題として責任ある対応をお願いする。なお、長年に亘り改善（園庭の広さや遊具の充実）が指摘されている「岩井学童保育所」は一向に好転せず、問題が残りました。また、公害対策の項目・内容等、さらなる充実で安心・安全な町づくりに尽力願いたい。

藤岡 健司 議員

歳入の個人町民税は、2.0%の増額となり、固定資産税は、6.6%の減額となりました。町民税の増額は町民の所得が少し増えたことからと思われます。固定資産税の減額は、資産価値の目減りしたものと思われます。利子割交付金の減額は、利子の減少、配当割交付金の増額は、株主が昨年より、多く配当を得たものと思われます。地方消費税交付金の減額は町民の購買力が低下しているものと思われます。そういう中で、町民の生活はどうだったのでしょうか。やはり、24年度も深刻な不況の1年だったのではないのでしょうか。

学校などは体育館の耐震補強工事が施行されましたが、まだまだ教育環境の整備は進めなければならないのではないのでしょうか。学校教育の充実については、支援員の配置がなされていますが、児童、生徒のいじめの問題が全国で報道されています。いじめの問題にさらになんばってもらいたいと思います。65歳以上の高齢者が、町では、9,366人と人口の26.5%を占めるなど、町の高齢化が進んでいる。高齢者が安心して暮らせる地域、人間らしく生きられる社会にしていくために、職員のさらなる研鑽を要望します。

平成24年度

特別会計 決算

国民健康保険

一般被保険者
平均被保険者数
1万583人
医療の給付
1人当り費用額
22万1021円

国民健康保険は、医療保険制度の基盤的役割を果たしており、毛呂山町においては全体の31・5%が加入しております。

医療費の適正化を図るため、レセプト点検専門員を雇用し点検、調査を行いました。

(賛成多数認定)

介護保険

被保険者数
9171人
要介護認定者数
1137人
介護保険制度創設
から13年が経過し、制度の周知が図られたことと年々増加する高齢者に伴い、要介護認定者及び、サービス利用者は年々増加している。

町では、被保険者の資格管理、保険料の賦課徴収、要介護認定及び、保険給付の事務を行いました。

(賛成多数認定)

水道事業

給水人口
3万5580人
給水戸数
1万5573戸
事業収支では、前年度に比較して2069万円の増であり、主には水道加入金1145万円が増額となりました。

総配水量
469万2573m³
有収水量
452万2753m³
有収率
96・4%

(賛成多数認定)

農業集落排水

農業地域における生活環境の整備と河川や用排水路などの水環境の保全を目的とした「毛呂山町農業集落排水施設設備基本構想」に基づき事業の推進を図っております。

(全員賛成認定)

後期高齢者医療

被保険者数
3712人
1人当り年間保険料
5万7733円
後期高齢者医療特別会計においては、

保険料の徴収、保険証の引き渡し、各種申請・届出の受付等の事務を行いました。

(賛成多数認定)

平成24年度毛呂山町水道事業会計未処分利益
剰余金の処分

水道事業会計の未処分利益剰余金6958万円は、減債積立金に500万円、建設改良積立金に3000万円を積み立て、残りを繰越しました。

(賛成多数可決)

特別会計決算額

	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
国民健康保険	46億4,704万2千円	43億4,890万7千円	2億9,813万5千円
農業集落排水事業	2,885万1千円	2,553万7千円	331万4千円
介護保険	17億6,653万6千円	17億1,466万5千円	5,187万1千円
後期高齢者医療	2億8,344万6千円	2億7,687万2千円	657万4千円
水道事業	事業収益	事業費用	純利益
	7億5,340万2千円	7億320万4千円	3,729万6千円
	資本的収入	資本的支出	不足額(補填財源)
	6,093万5千円	4億60万8千円	3億3,967万3千円

平成25年度

補正予算

一般会計(第3号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ5億1053万円を追加し、予算総額を95億4174万円としました。

【歳入の部】

地方交付税

1億619万円

繰入金

682万円

諸収入

113万円

【歳出の部】

民生費

2534万円

旭台保育園の園庭拡張工事等

土木費

1億3096万円

国庫補助事業による舗装修繕工事

教育費

1415万円

空調設備・トイレ改修工事設計委託

以上が主な内容であります。

(賛成多数可決)

国民健康保険(第1号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億2708万円を追加し、予算総額を45億9362万円としました。

主な内容は、諸支出金として過年度の退職被保険者療養給付費交付金の償還に充てるため1173万円、今後の医療費増加に備えるため予備費として1億1565万円を追加しました。

(全員賛成可決)

農業集落排水(第1号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ101万円を追加し、予算総額を2890万円としました。

(全員賛成可決)

介護保険(第1号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ5048万円追加し、予算総額をそれぞれ19億6840万円としました。

主な内容は平成24年度介護給付費負担金及び地域支援事業に係る国庫支出金、県支出金ならびに支払基金交付金の償還に充てるため569万円追加しました。また、平成24年度の一般会計の繰入金の精算に充てるため、一般会計繰出金を666万円追加いたしました。

(全員賛成可決)

後期高齢者医療(第1号)

歳入歳出予算の総額からそれぞれ79万円を減額し、予算総額を3億153万円としました。

(全員賛成可決)

水道事業(第1号)

収益的収入および支出のうち、支出637万5千円の減額で収益的支出の合計は7億2262万5千円となり損益勘定は2624万円の純利益となり、主な内容は人件費の減額によるものです。

(賛成多数可決)

専決処分

市場地内での、町所有車による事故に対する損害賠償額の専決処分の承認。

(全員賛成可決)

条例の制定・改正

○毛呂山町子ども・子育て会議条例

*この条例は、委員12名により組織され、定例会議を行い、子育て支援の推進を図る目的のため制定された条例で施行日は平成25年9月27日となります。

(全員賛成可決)

○毛呂山町武州長瀬駅自由通路条例

*この条例は、武州長瀬駅橋上駅舎の完成に伴い、自由通路の利用規定を定めた条例で施行日は平成25年9月27日となります。

(賛成多数可決)

○毛呂山町税条例の一部を改正する条例

(賛成多数可決)

○毛呂山町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

(賛成多数可決)

○毛呂山町介護保険条例及び毛呂山町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

(全員賛成可決)

○毛呂山町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例

(全員賛成可決)

常任委員会レポート

《生活福祉常任委員会》

平成24年度一般会計決算認定のうち、歳出の部、民生費・衛生費・労働費・農林水産業費・商工費・土木費・災害復旧費、特別会計決算認定（国民健康保険・水道事業・農業集落排水事業・介護保険・後期高齢者医療）、条例制定2件、水道事業会計未処分利益剰余金の処分について審査しました。尚、審査にあたり議案に関する現地視察を行いました。



武州長瀬駅 自由通路

《総務文教常任委員会》

平成24年度一般会計決算認定のうち、歳入の部、全部及び歳出の部、議会費・総務費・消防費・教育費・公債費・諸支出金・予備費について審査しました。尚、審査にあたり議案に関する現地視察を行いました。



川角中学校 武道場

町や議会のハイライト



おめでとう 瀬戸大也選手

○瀬戸大也選手の功績を讃え、毛呂山町として初の特別栄誉賞授与式が9月24日、ウィズもろやまの駐車場で多くの来賓をお迎えし、盛大に執り行われました。引き続き、西入間警察一日署長として、会場から毛呂山町役場までパレードが行われました。

○武州長瀬駅橋上駅舎完成に伴い、10月2日に自由通路竣工式典が多くの来賓並びに関係者をお迎えし、盛大に執り行われました。当日は、アトラクションにおいて太鼓の演奏や神輿が繰り出し、花を添えました。



武州長瀬駅 自由通路開通式

●議案の審議結果（9月定例会）

○は賛成 ×は反対 退は退席 討は討論 議は議長

議案	弓田茂樹	佐藤秀樹	荒木かおる	千葉三津子	村田忠次郎	宮寺征二	藤岡健司	岡野勉	小峰明雄	高橋達夫	長瀬衛	岡部和雄	堀江快治	下田一甫	審議結果
50 専決処分の承認を求めることについて（損害賠償の額の決定）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
51 毛呂山町子ども・子育て会議条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
52 毛呂山町武州長瀬駅自由通路条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議	可決
53 毛呂山町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議	可決
54 毛呂山町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議	可決
55 毛呂山町介護保険条例及び毛呂山町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
56 毛呂山町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
57 平成25年度毛呂山町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	議	可決
58 平成25年度毛呂山町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
59 平成25年度毛呂山町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	議	可決
60 平成25年度毛呂山町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議	可決
61 平成25年度毛呂山町介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
62 平成25年度毛呂山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
63 平成24年度毛呂山町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	議	認定
64 平成24年度毛呂山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議	認定
65 平成24年度毛呂山町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議	可決
66 平成24年度毛呂山町水道事業決算認定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議	認定
67 平成24年度毛呂山町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認定
68 平成24年度毛呂山町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議	認定
69 平成24年度毛呂山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議	認定

いっぱん質問

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

質問議員と質問事項

- 長瀬 衛 議員** ①24年度決算を踏まえ主な成果と町政の課題
- 荒木かおる議員** ①学校における防災力の向上
②福祉避難所の整備
③小中学校のエアコンの設置
- 千葉三津子議員** ①健康マイレージの取組
②高齢者の支援対策
③学校図書館の現状と推進状況
- 佐藤秀樹 議員** ①新たなる防災情報システムの活用
②空き家問題
③企業誘致の取組
- 高橋達夫 議員** ①町の産業の振興
- 藤岡健司 議員** ①社会保障
②鳥獣の被害対策
③健康長寿の成果と課題
- 岡野 勉 議員** ①国民健康保険の現状と課題
②教育委員会の現状と課題
- 村田忠次郎議員** ①学童保育施設
②老人福祉施設山根荘の安全性
- 小峰明雄 議員** ①定住促進策
②教育・子育て環境の充実
③花蓮

※内容については、各人の原稿をもとに、質問順で掲載いたしました。質問順は抽選により決定されます。

訂正とおわび

6月議会、81号において12ページ、岡部和雄議員の質問タイトルの問いの中で、「的場」を「的宿」に訂正してお詫び致します。

24年度、見守り・ゴミ減量化など 手付かず！

見守りプロジェクト進まず
共助ではなく公助へ！

長瀬 衛 議員

問 瀬戸選手の金メダル獲得という明るいニュースの一方で、人口減・少子高齢化に加え、都市計画道路、区画整理、川角駅周辺整備など基幹となる課題が解決されず、依然、閉塞感が続いている。町政を担っている全てがそれら課題に対して真摯に

取組み、瀬戸選手のように成果を出すべく、日々邁進し、町民の期待に応えなければならぬ。最大の使命は、町民生活の安心・安全を確保し、財政強化のための活性化策を計画的に取組むことだ。また、教育や高齢者福祉、道路整備などの将来課題にも

確に対応すべきである。町づくりは首長のビジョン次第であり、深い経験・認識に立った決断が求められている。24年度決算における成果は新保育園、長瀬駅、7号線、学校耐震補強など前町政からの継続事業や介護保険など義務的業務でコンサルに依頼し、予算を付ければ黙っていても進む。住民と連携し、大いに知恵を出し努力を要する事業に進展がない。平成14年度以降、野久保線を進め、利用者激減の長瀬駅に財政を集中させたことで企業誘致、観光等の進展には大動脈として欠かせない新川越

坂戸毛呂山線が事実上、進まないことが致命的。最大の課題として強調していた防災・見守りなど地域高齢者福祉施策の成果には不満。個人の可燃物収集量は増え続け、全体搬入量も構成市町で最大。ゴミ減量化の公約は守られていない。

答 見守りプロジェクトチームは個人情報保護等があつて中々進まない。社協の福祉サポーターの形に移行し、共助ではなく公助でやるべきと今、動いている。今後とも努力しゴミ減量化に努めたい。

24年度・1日1人当たりの可燃ゴミ 〔収集+持込〕搬入量

・毛呂山町	734.20g
・鶴ヶ島市	684.16g
・鳩山町	621.05g
・越生町	619.11g

内、収集可燃ゴミ搬入量の21年度と24年度の比較

・毛呂山町	1.033倍
・鶴ヶ島市	0.990倍
・鳩山町	1.032倍
・越生町	1.019倍

搬入量割負担金は通常経費75%。更新建設費90%



小中学校全校に早期設置を!

全小中学校の エアコン設置の時期は?

自分の任期中に進めて参りたい

荒木 かおる 議員

問 町長の公約に「全小中学校にエアコン設置を」と掲げられているが、導入時期はいつまでと考えるおられるか。

答 中学校2校は来年度を予定している。各小学校への導入については、今定例会に上程した補正予算に小学校空調設備設置工事委託料を計上。今後は計画的に設置工事を実施して参りたい。

問 平成20年3月定例会において前小沢町長が「学力日本一」を目指す教育行政の一環として全小中学校にエアコン設置の予算を計上されたが、エアコン導入までのプロセス、手順等の説明不足で修正案が出され可決となった。前回と同じ轍を踏まないためにも町として説明責任があると思うが如何か。

答 平成20年の問題点は、熱源等について十分な検討がなされず議会に対する説明が不十分であり、その結果当初予算案の修正となった。今後は進捗状況の報告などは行つて参りたい。

問 この5年間、熱源の検討、設置ランニングコスト等は検討されてきたのか。

答 平成25年度当初予算に中学

校へのエアコン導入までの設計予算が計上されるまで導入に対する具体的な取り組みは進んでいなかった。しかし本年の暑さを考えればエアコン導入による環境整備は必ず進めていかなければならないと考えている。

問 町長の任期中に小学校4校にエアコンは設置になるのか。

答 まずは設計業務が必要。小学校のエアコンについては一度は公約として掲げた案件なので自分の任期中に進めていきたい。教育環境また子育て環境についても今後、しっかりと進めて参りたい。

学校図書館に 「生きた教材」新聞の配備を

新年度の新聞配備に努力する

千葉 三津子 議員

学校図書館の新聞配備

問 現在、小中学校の学校図書館の現状は非常に充実しているようですが、新聞の配備状況は如何でしょうか。

答 現在、小学校に「朝日小学生新聞(寄贈)」を図書室に配備しています。

問 生徒児童の読解力の低下や文字・活字離れが心配される中で、成果をあげているのが新聞界と教育界が取り組む活動NIEです。各学校図書館へ生きた教材である新聞配備のお考えは

答 読むことを通して環境を整えて行くことは非常に重要。新

年度に配備出来るよう努力して参りたい。

高齢者の支援対策

問 救急医療情報キットの導入に向けての進捗状況及び県主体のコバトンお達者倶楽部の進捗状況について伺います。

答 救急医療情報キットですが県の高齢者と地域つながり再生事業補助金を活用して実施する予定です。コバトンお達者倶楽部は7月より開始しています。高齢者の閉じこもりを防止するため、登録店で買い物をした際、カードにスタンプを押し印してもらいスタンプ欄が全て埋まった

ときに登録店から特典の提供を受ける仕組みです。現在28人が交付を受けています。

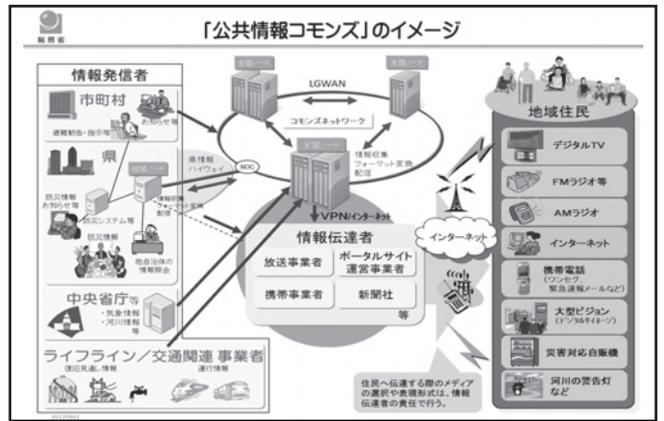
健康マイレージの取り組み

問 全国的に健康診断の受診やスポーツ活動への参加などでポイントをとれると特典を利用することができると健康マイレージが注目されていますが、今後町の考えを伺います。

答 先進自治体の取組事例でどのような仕組みづくりが成果を上げているか情報収集を行うとともに、健康づくり推進協議会において検討して参ります。



教育に新聞を!



新しい防災情報システムの概要

新たな防災システムの活用を！

積極的に導入致します！

佐藤 秀樹 議員

問 新たな防災システム活用
現在防災無線は、風向きによったり、最近の住宅における気密性向上により、なかなか放送が聞き取りにくい状況に陥っているが、新たなシステム等は考えていますか。

答 災害や避難情報を受信することができるとエリアメールの導入は関係機関と調整中です。また山間部においては、衛星携帯電話の設置を進めてまいります。
問 地元ケーブルテレビの情報伝達システム及び総務省が各地域に推奨している「公共情報コ

モンズ」に加入している埼玉テレビのDボタンを活用すれば、聞き取りにくい情報並びに災害時の地域情報を網羅できます。県知事も推奨しているシステムです。是非ともこのシステムの導入を望みますが如何ですか。
答 導入するには毎月一定の費用がかかりますが、導入に向けて検討し、住民に迅速且つ正確な情報が伝わる様努力致します。
空き家問題
問 昨年12月の一般質問で空き家問題を取り上げました。答弁で平成25年度に空き家条例を制定できるように進めてまいりた

い。と言われましたが、昨年12月以降の進捗状況を伺います。
答 条例案を検討しまして、今年度中に条例を制定するよう努力し、具体的には、条例の周知期間を考慮し、12月議会に提出できるように進めております。
企業誘致
問 第四次毛呂山町総合振興計画の達成に向けた26年度、27年度の計画をお聞かせ願いたい。
答 東部地区においては、所有権が移転したことにより、進展していくものと考えられますので諸条件等を確認しながら進めてまいります。

まちの遊休農地 解消の施策は

中山間地域直接支払制度等を活用している

高橋 達夫 議員

問 町の産業の振興について

第四次毛呂山町総合振興計画後期計画では「元気に仕事が

できる町づくり」として産業の振興を掲げている。そして農業においては遊休農地解消として平成27年度に5haを目標としているが、それに向けてどのような

施策が開発されているのか。

答 現在のところ1ha〜2ha解消された。いずれにしても各年

において作付け面積が違わない。正確な数値は把握できていない。
問 農地法では農業委員会は毎年一回、その区域内にある農地の利用状況について調査しなけ

ればならないとしている。町では現在どの位の農地があり、うち遊休農地はどのくらいあるのか。

また、先程の答弁では連作をさける為の休耕農地も遊休農地と考えているようだが、町は遊休農地をどのように理解しているのか。農業の専門家である町長に答弁を求める。

答 町には農地が613・1haあり、うち27haが遊休農地になっている。町では長年の間、耕作されてない耕作放棄地を遊休農地としている。大谷木、阿諏訪、滝ノ入、葛貫など中山間地

の昔の田んぼの多くが耕作放棄地になっている。

問 本年度から町が始めた農業塾も、遊休農地解消には有効の手段と私は考えるが町の考えは。

答 農協が始めた農業塾は今迄農業をやっていたいなかった農家の後継者が、新しく農業に取り組む為の塾であり、町の農業塾は後継者とは限らず、農業への新規参入者も学ぶことができるのが特徴であり、現在、町の農業委員会と協力しながら進めている。



遊休農地が目立つ町の農地

高齢者の生活はさらに厳しい 状況になることが予想されるが

社会保障制度の 将来あるべき社会像を示したもの

藤岡 健司 議員

問 政府の社会保障制度改革国民会議は8月5日、医療、介護、年金、保育の全分野で改革を求める最終報告書を取りまとめました。報告書は、介護保険で要支援者を保険給付の対象から外し、市町

では、70〜74歳の窓口負担倍増（1割から2割へ）など、受診や入院を抑制して医療費を削減する方向へとしています。年金では、徹底した支給額の削減と課税強化、支給開始年齢のさらなる引き上げの検討を打ち出しています。また、消費税増税の必要性が強調され、負担増を求められた高齢者の生活は、さらに厳しい状況になることが予想されるが、いかがか。

介護などの社会保障給付も今後、益々増大していくものと考えられます。国では現行の社会保障制度を持続可能なものに改めるため、平成24年に社会保障制度改革推進法を施行し、同法に定める基本方針に基づき、社会保障制度改革国民会議を設置し、社会保障制度改革の大局的な方向性や改革メニュー作りとして、その報告書が公表されました。内容としては、医療・介護・年金・少子化対策の各分野について社会保障制度の将来あるべき社会像を示したものです。

- 【医療】** ①70〜74歳の窓口負担倍増（1割から2割へ）
②入院時の給食の患者負担引き上げ
③紹介状がない大病院の受診に定額負担の導入
④保険料アップにつながる、国民健康保険の都道府県運営への移行
- 【介護】** ①要支援1と2を保険給付から除外
②一定以上の所得者の負担引き上げ
③施設の居住費・食費を軽減する補足給付の対象縮小
④特養ホームから「軽度者」しめだし
⑤デイサービスを削減
- 【年金】** ①支給額を減らすマクロ経済スライドの毎年実施
②支給開始年齢の引き上げの検討
③「高所得者」への支給額を削減。課税を強化

国民会議が示した社会保障の報告書

「国保税」大家族、子育て世帯に 重い負担！早急に改善を！

大家族に負担増！なんとかしたい

岡野 勉 議員

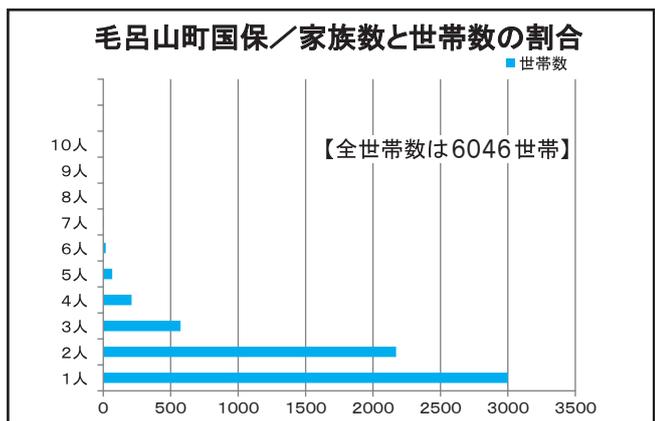
問 国民健康保険を県単位とする広域連合の動きがあると聞く、現状をお聞きする。また、本町では一世帯当たりの家族数と世帯数の割合はどうなっているか。

するための会議がスタートした。本町の国保加入世帯数は全体で6046世帯。家族数に対する世帯の割合は以下の通り。

1人世帯	3000世帯	50%
2人世帯	2171世帯	36%
3人世帯	573世帯	9%
4人世帯	210世帯	3%

問 何と1人から3人家族までで全世帯の約95%を占めている。また、1人（単身）世帯だけで約50%（半数）に及びこの家族構成が社会経済的にどう形づくられ、今後の国保事業、財源の安定化などしつかりした分析が求められていると実感する。

従来の「資産割と平等割」を廃止「均等割と所得割」になった。均等割で一人当たり1万1500円が一気に3万5000円に跳ね上がった。約3倍大家族はたまったものではありません。（例えば5人家族では算出基礎が約12万円増額に！）全額元に戻せと言っている訳ではありません。充分、行政、国保運営協議会で改善策を検討してもらいたい。





避難場所と指定されている山根荘の建物

災害時の避難場所として 山根荘は適当か

現時点の山根荘指定は
やむをえない

村田 忠次郎 議員

老人福祉施設

山根荘について

問 災害避難場所としての指定は適当か。

答 建物の経年、地形的な課題があるが、地区の方々にとって山根荘が一番身近で他にふさわしい

公共施設が見当たらないことから、現時点での山根荘指定はやむをえない。

問 施設の対震度はどうか。

答 国の基準では「昭和56年以前に建築された建物について耐震診断を受けること」とされている。新館及び別館は耐震診断

を実施する義務は課されていないため、実施していない。

問 防災計画見直しの委員は現場を見ているのか。

答 現場に向向いておりません。
要望 山根荘周辺の状況をつかんで、防災計画の見直しをしていただきたい。

児童保育施設について

問 児童保育所の改善状況について伺います。

答 昨年度は緊急的な修繕を行った。また、定員以上の登録児童数の解消に向け、協議・検討中である。国の動向を注視しつつ、子育て支援施策の重点課題

の一つとして協議を重ね、改善に向け努力していく。

問 岩井児童保育所園庭と他の児童保育所園庭との格差是正という点で、どう考えているか。

答 岩井児童保育所は狭く、砂場が確保されている程度であり、子どもたちが元気に遊び回れるスペースはない。国のガイドラインでは「40人が望ましい」「最大でも70人」とされている。本町では最大の状態が続いているため、増設・分散化を検討している。

要望 体験や心の教育を含め、環境改善を望む。

小学校のトイレ改修、 今後の計画は

毎年度、計画的に取り組んで行く予定

小峰 明雄 議員

問 私は、未来を担う子ども達を安心して、生み育てられる環境づくりが必要であり、特に育児不安や子育て世帯の経済的負担の軽減を図る、子育て支援等が必要と考えます。例えば、学校給食費の無料化など、特色のある子育て支援での定住促進は。

答 大きな財政負担となり、現状では対応は難しいと考えます。

問 災害時の園児・児童・生徒の引き渡し、待機方法の現状は。

答 保育園では、保育安全マニュアルを作成し、災害に備えています。小学校では、マニュアルを作成し、引き渡し訓練を

実施し、保護者に周知徹底を図っている。中学校では、生徒は基本的に帰宅させますが、通学路の安全が確実な場合に実行。

問 児童保育所の災害時の児童の引き渡し、待機方法等は。

答 児童の安全確保を最優先とするため、緊急時の対策を徹底してまいりたいと考えます。
問 中学校の普通教室にエアコンの設置、熱源、設置年度は。
答 毛呂山中学校・川角中学校の普通教室に来年度導入予定。
問 毛呂山中学校・川角中学校は、大規模改造工事を予定されておりますので、工事期間を含

め慎重に進めて頂きたいと私は考えますが。

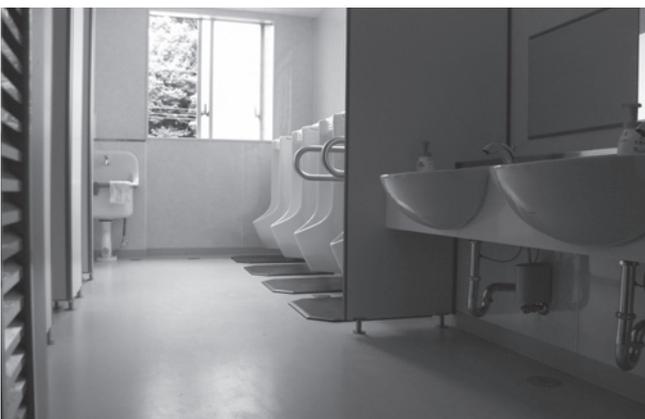
答 十分に慎重に検討してまいりたい。

問 保育園での食育と箸の持ち方は。

答 全職員が協力し合い指導計画に沿って食育を推進。

問 平成23年度から花蓮の栽培に取り組み、今年は約2ヶ月の間に多くの方々が訪れましたが、今後のPR・施設整備等は。

答 5千人を超える来場者。有効な修繕等を検討させて頂きたいと考える。



きれいになった小学校低学年用トイレ

全員協議会

【9月2日】

○毛呂山町子ども・子育て会議条例について

目的

毛呂山町の子ども・子育て支援を総合的かつ計画的に推進する。

○旭台保育園の園庭拡張事業について

目的

保育事業の充実、他保育園との格差是正を図るため、隣接する民地を第2園庭として400㎡借用する。

○毛呂山町武州長瀬駅自由通路条例について

設置

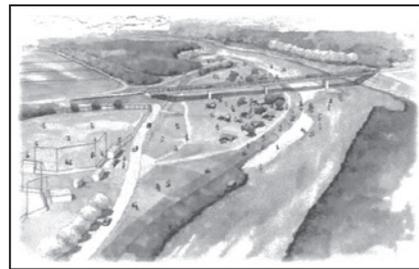
武州長瀬駅の南北の駅前広場を結び、歩行者の往来の利便性と駅周辺地域の活性化を図るため整備された自由通路の、適切な維持管理について定める。

園庭の具体的な内容

- ① 東西25m、南北16m
- ② 自由広場
- ③ どんろこ広場
- ④ こんもり山
- ⑤ 丸太広場

○その他

① 越辺川 川のまるごと再生プロジェクト(県事業)【解説】 越辺川をまるごと対象にして、町づくりと一体になった川の再生を目指す。



川のまるごと再生プロジェクトのイメージ

② 日本ホーバス跡地の所有権移転

③ 毛呂山町タウンミーティングの実施

④ 毛呂山町合併60周年記念事業

⑤ あいあい作業所復旧工事

⑥ 「成人のつどい」の開催

【議員研修】

○10月18日埼玉県町村議会議長会主催議員研修会が、吉見町民会館「フレサよしみ」で開催。

演題

地域の宝「当地グルメ」でふるさとを元気に!

講師

愛Bリーグ本部 専務理事兼事務局長 俵 慎一 氏

議会の動き

- 7月16日 西入間広域消防組合議会臨時会
- 7月25日 } 埼玉県町村議会議長会研修
- 26日 } (新潟県)
- 8月 1日 議会だより第81号発行
- 7日 坂戸地区衛生組合議会定例会
- 8日 埼玉西部環境保全組合議会定例会
- 19日 毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合議会定例会
- 21日 広域静苑組合議会定例会
- 26日 議会運営委員会
- 9月 2日 } 第3回(9月)定例会
- 9月20日 } 全員協議会
- 2日 } 総務文教常任委員会
- 11日 } 生活福祉常任委員会
- 13日 } 西入間広域消防組合議会定例会
- 27日 } 議会運営委員会行政視察(杉戸町)
- 10月 9日 } 埼玉県町村議会議長会議員研修会
- 18日 } (吉見町民会館フレサよしみ)

次回定例会は12月です。

9月定例会傍聴者数

本会議日	傍聴者数(人)
9月 2日(月)	0
9月 3日(火)	29
9月 4日(水)	9
9月 5日(木)	5
9月 6日(金)	1
9月 9日(月)	0
9月20日(金)	1

傍聴席

あとがき

暑い夏が過ぎ去り秋風がこち良い季節となりました。毛呂山町の明るい話題として世界水泳選手権大会で、見事に金メダルを獲得した瀬戸大也選手は、私たちに勇気と希望を与えて頂きました。これからの活躍を期待をするものでございます。

さて、毛呂山町議会は9月議会におきまして新たな議長・副議長が選出され、各委員構成等も変わりました。私は、この度議会だより編集委員会の一員となりました。気持も新たに、少しでも町民の皆様へ議会の動きをお伝えできるよう頑張っております。

(千葉 三津子)

編集委員

- 委員長 藤岡 健司
- 副委員長 岡野 勉
- 委員 弓田 茂樹
- 佐藤 秀樹
- 荒木かおる
- 千葉三津子

アドバイザー

(議長) 下田 一甫